

# 2012年3月期 決算説明資料

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2012年3月期は“11F”となります。

2012年5月8日に第四次中期経営計画を発表いたしました。そちらもあわせてご覧ください。

# 連結損益計算書

(百万円)

	10F		11F		前期比 増減額	12F計画		前期比 増減額
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		金額	売上高比 (%)	
売上高	<b>65,204</b>	100.0	<b>59,559</b>	100.0	5,644	<b>70,000</b>	100.0	+10,440
売上原価	<b>46,818</b>	71.8	<b>41,530</b>	69.7	5,287	<b>49,100</b>	70.1	+7,569
売上総利益	<b>18,385</b>	28.2	<b>18,028</b>	30.3	357	<b>20,900</b>	29.9	+2,871
販売費及び 一般管理費	<b>13,234</b>	20.3	<b>13,623</b>	22.9	+388	<b>14,900</b>	21.3	+1,276
営業利益	<b>5,150</b>	7.9	<b>4,404</b>	7.4	745	<b>6,000</b>	8.6	+1,595
経常利益	<b>5,258</b>	8.1	<b>4,479</b>	7.5	778	<b>6,000</b>	8.6	+1,520
特別損益 <sup>1</sup>	<b>1,014</b>	1.5	<b>782</b>	1.3	1,797	-	-	+782
税金等調整前 当期純利益	<b>6,273</b>	9.6	<b>3,697</b>	6.2	2,576	<b>6,000</b>	8.6	+2,302
当期純利益	<b>3,547</b>	5.4	<b>1,636</b>	2.7	1,910	<b>3,600</b>	5.1	+1,963

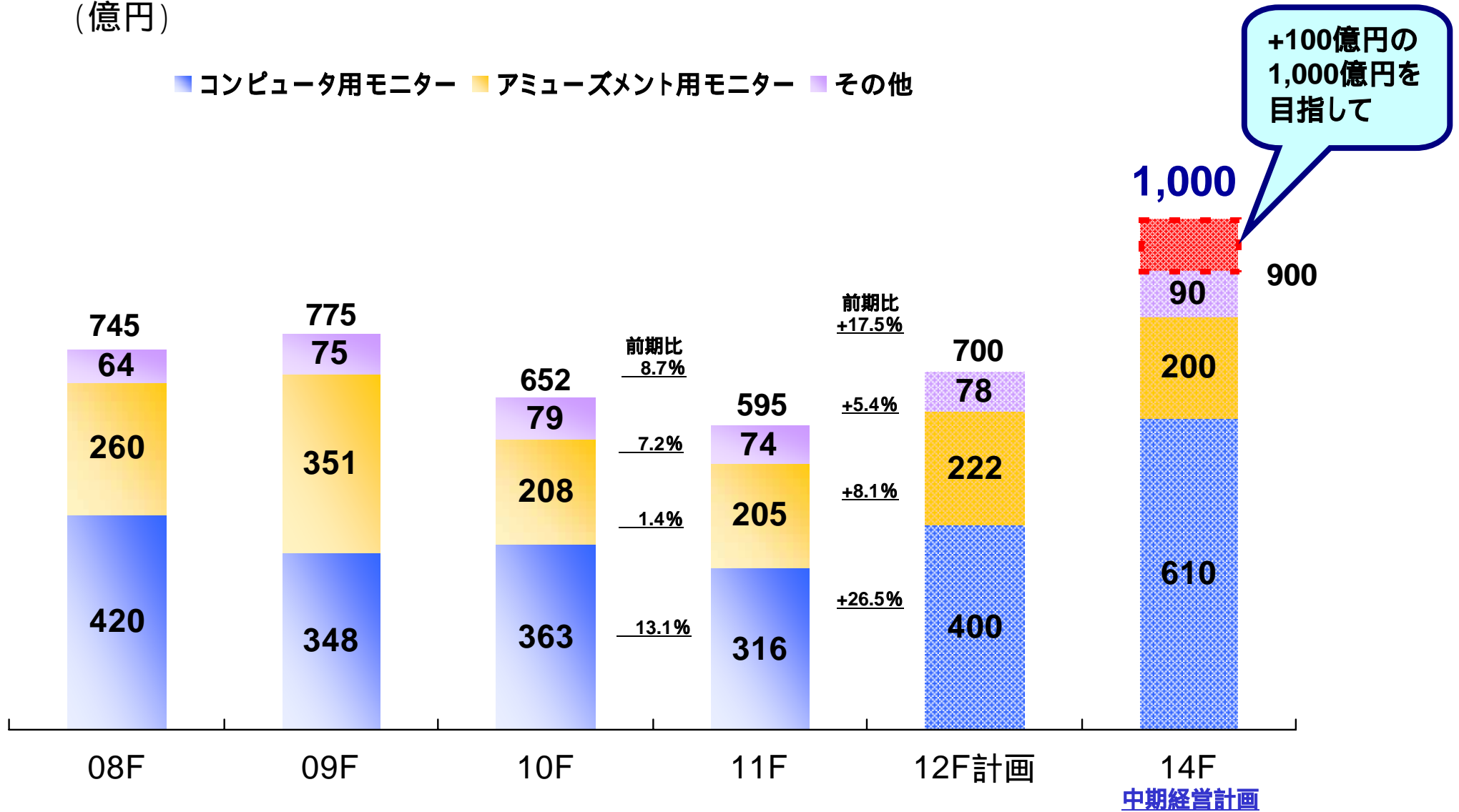
1 主な要因は右記の通り 10F EU関税返還金1,114、11F 投資有価証券評価損403、投資有価証券売却損394

2 12F想定為替レートは JPY84/USD、JPY102/EUR

# 連結売上高推移

(億円)

■ コンピュータ用モニター ■ アミューズメント用モニター ■ その他





# 品目別売上高推移(1) コンピュータ用モニター

(億円)

■ 国内 ■ 海外

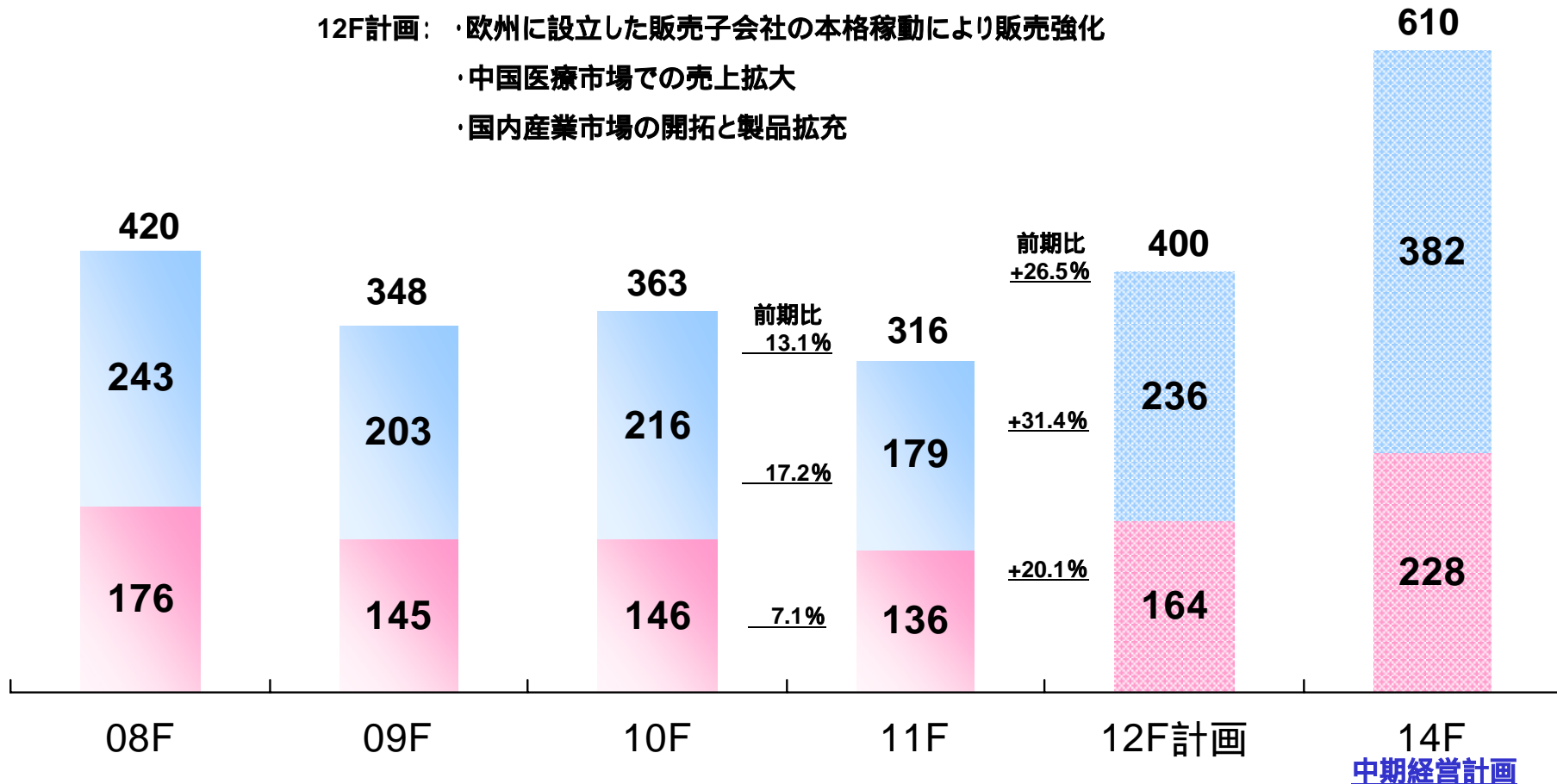
11F: ・東日本大震災発生以後、生産の早期回復に努めた結果、6月以降  
生産・販売を正常化

・上期前半の販売の落ち込み、欧州での景気減速やユーロ安進行による  
価格競争力の低下により前期比減収

12F計画: ・欧州に設立した販売子会社の本格稼働により販売強化

・中国医療市場での売上拡大

・国内産業市場の開拓と製品拡充





# 品目別売上高推移(2)

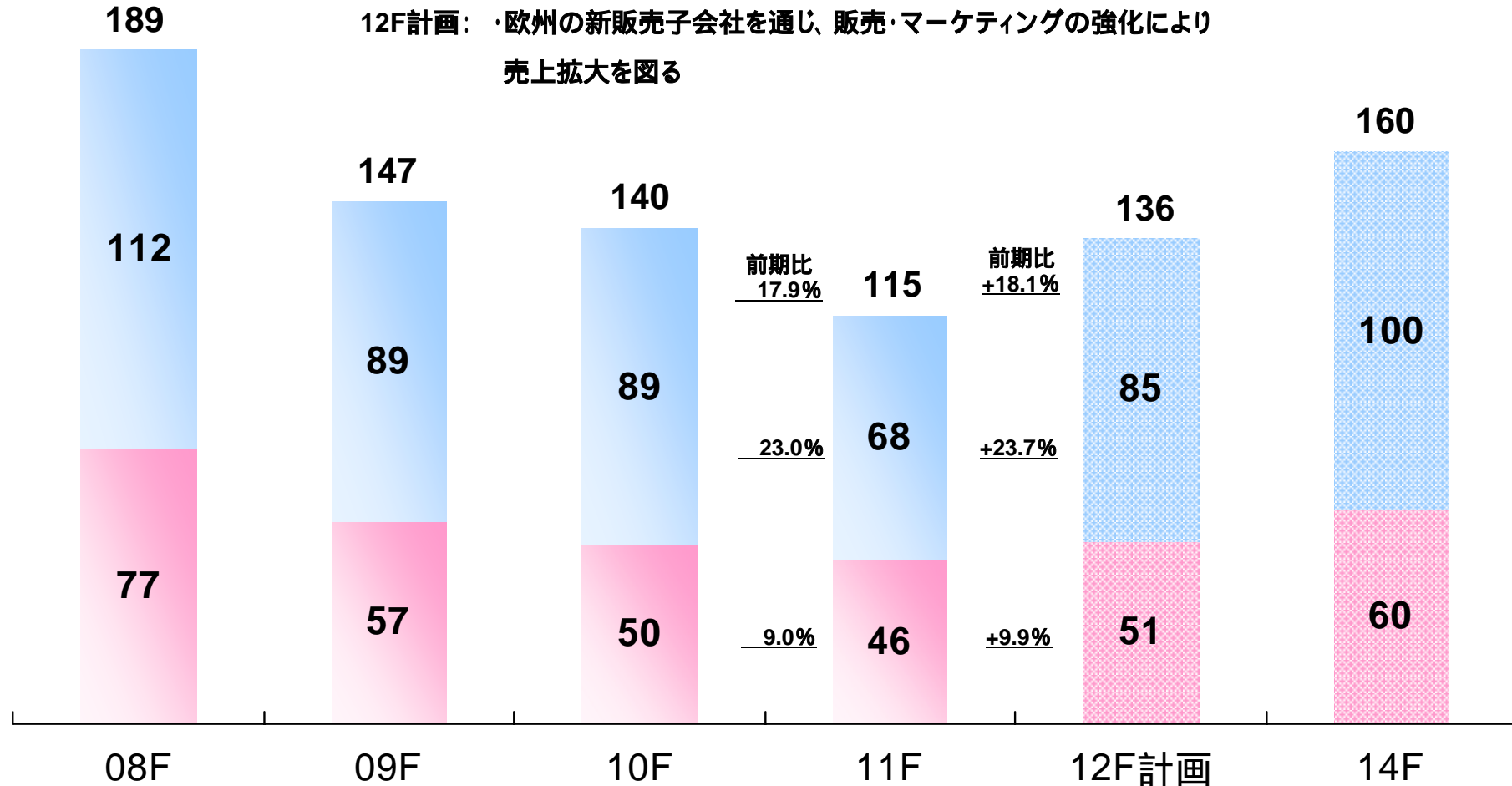
## コンピュータ用モニター うち一般用途

(億円)

■ 国内 ■ 海外

11F: ・上期前半の販売の落ち込み、欧州の景気減速やユーロ安進行による  
価格競争力の低下により海外を中心に低調

12F計画: ・欧州の新販売子会社を通じ、販売・マーケティングの強化により  
売上拡大を図る



中期経営計画

一般用途 … 一般法人、文教、個人消費者向け



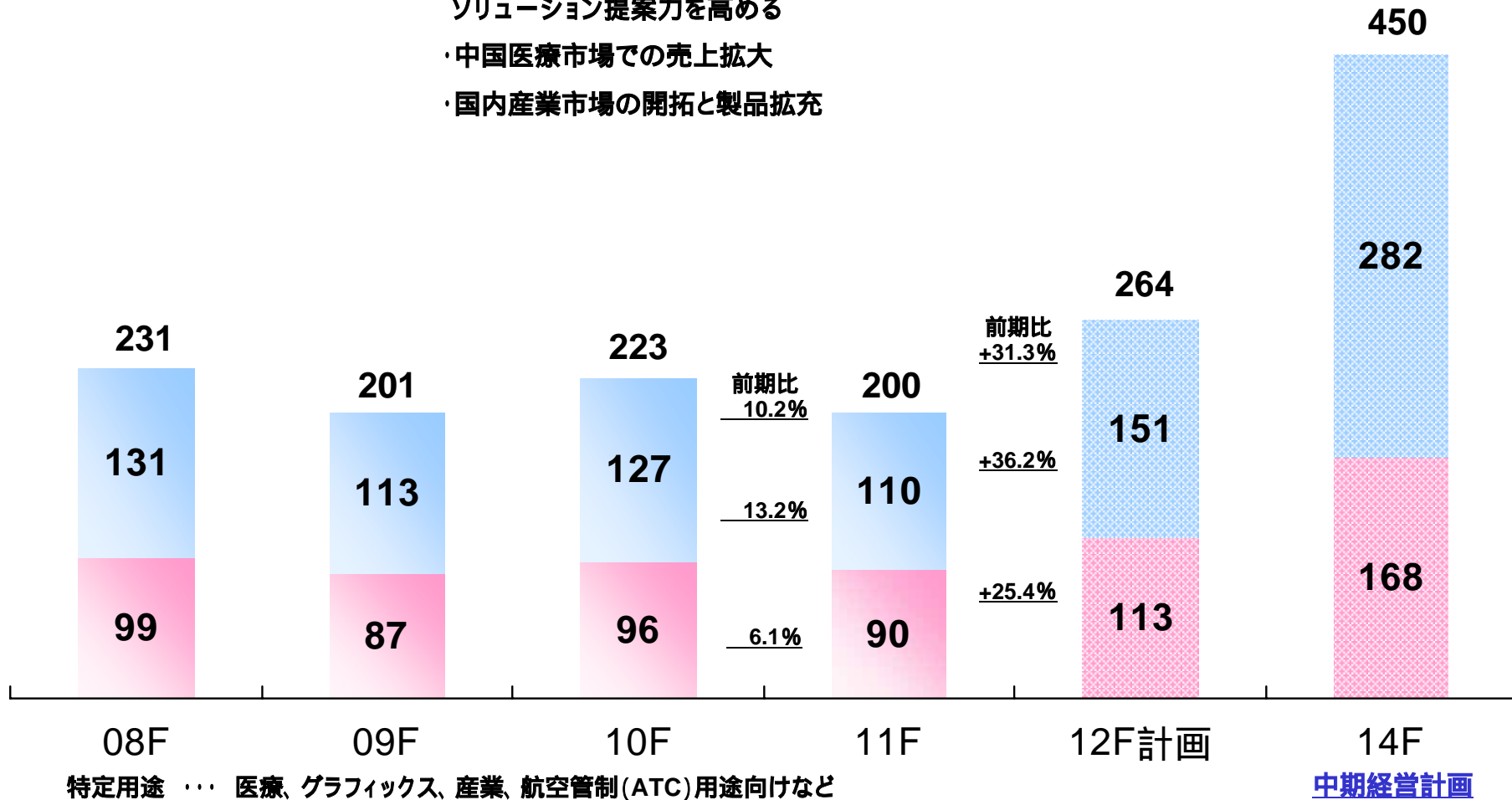
# 品目別売上高推移(3)

## コンピュータ用モニター うち特定用途

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- 11F: ・欧州での景気減速、ユーロ安進行により、海外を中心として低調に推移
- 12F計画: ・欧州の新販売子会社を通じて、販売・マーケティングを強化し、ソリューション提案力を高める
- ・中国医療市場での売上拡大
- ・国内産業市場の開拓と製品拡充

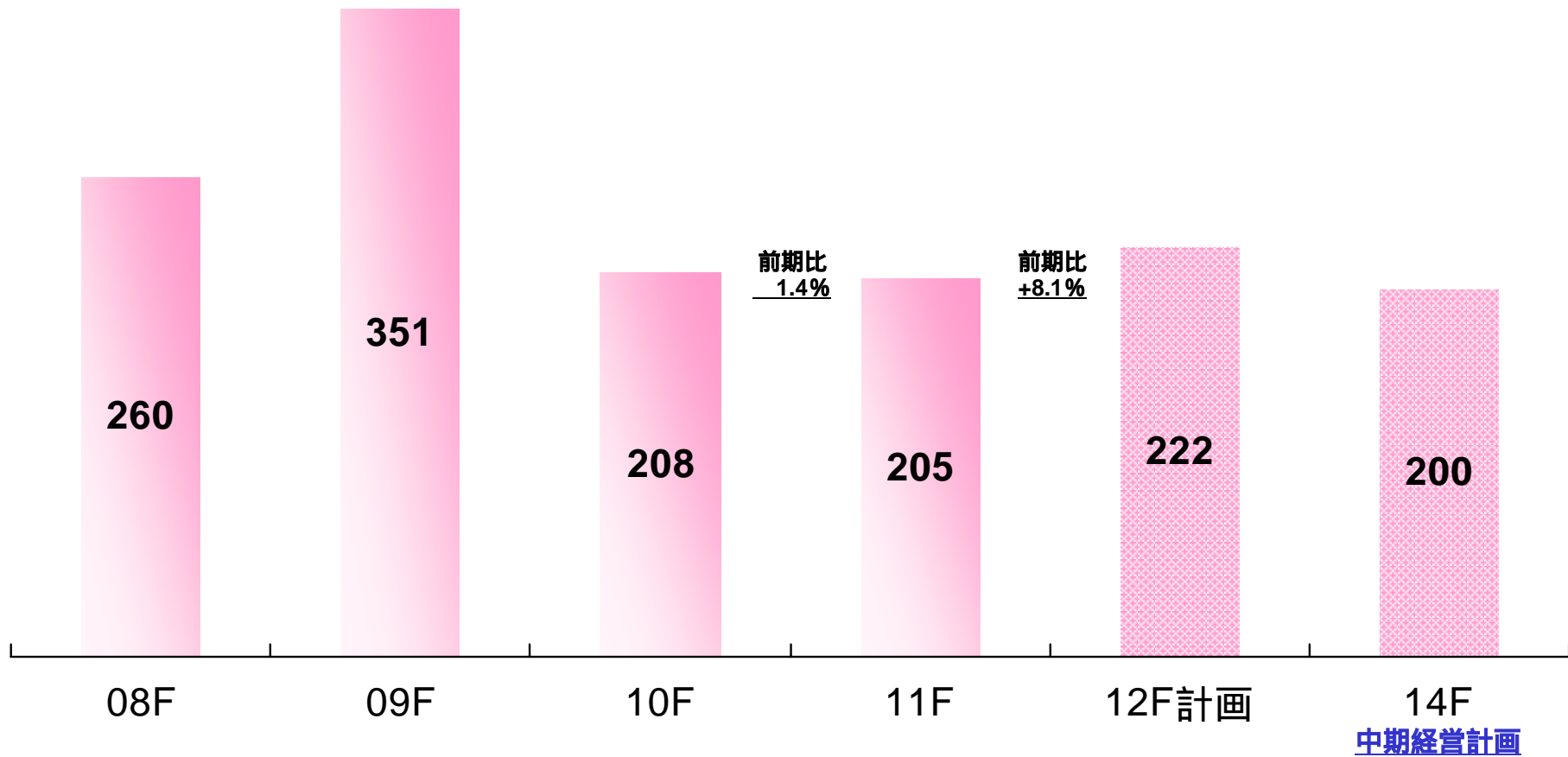




# 品目別売上高推移(4) アミューズメント用モニター

(億円)

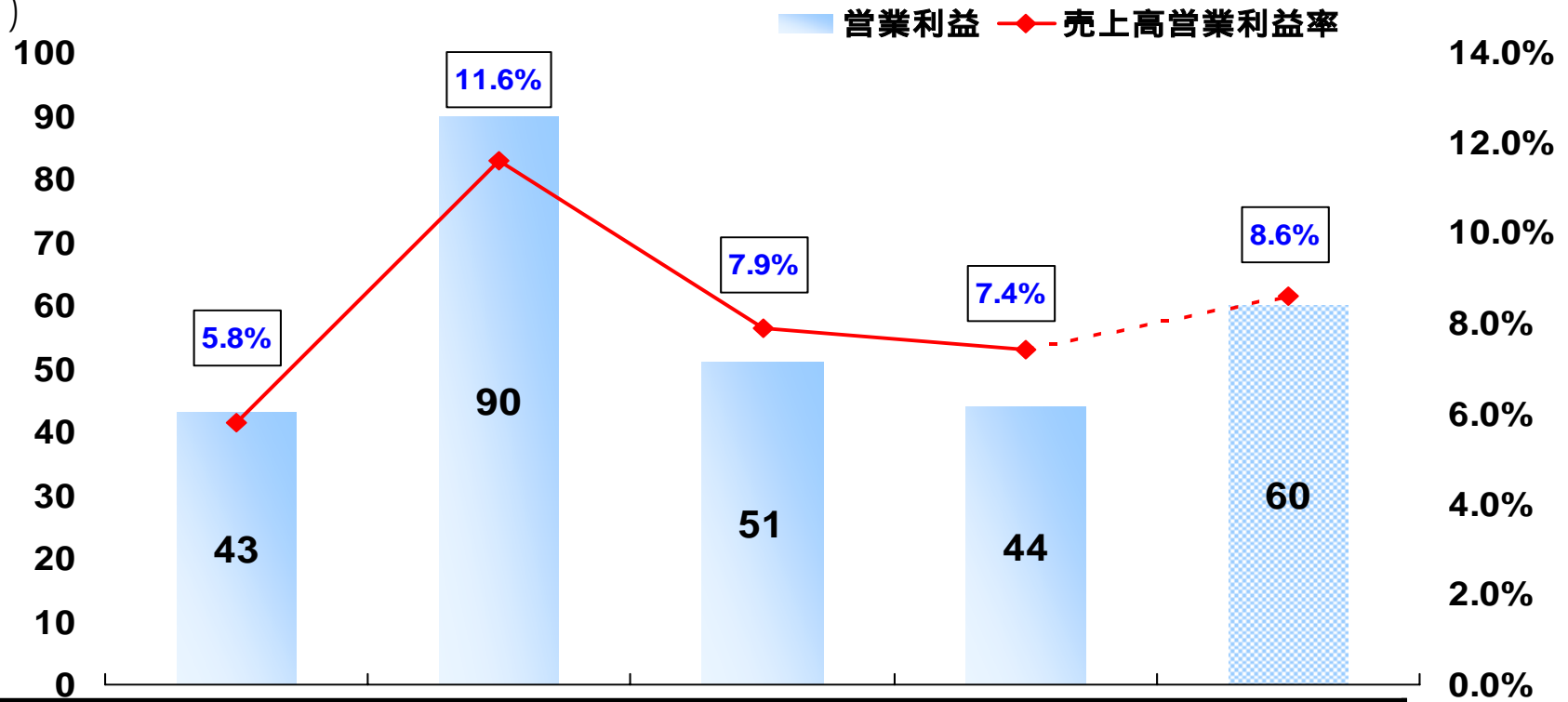
11F: ・当初予定を上回って推移したが、10Fの販売台数には及ばず  
12F計画: ・市場は縮小傾向と予測するが、当社独自のハードとソフトの融合による魅力的な製品の投入





# 営業利益推移

(億円)



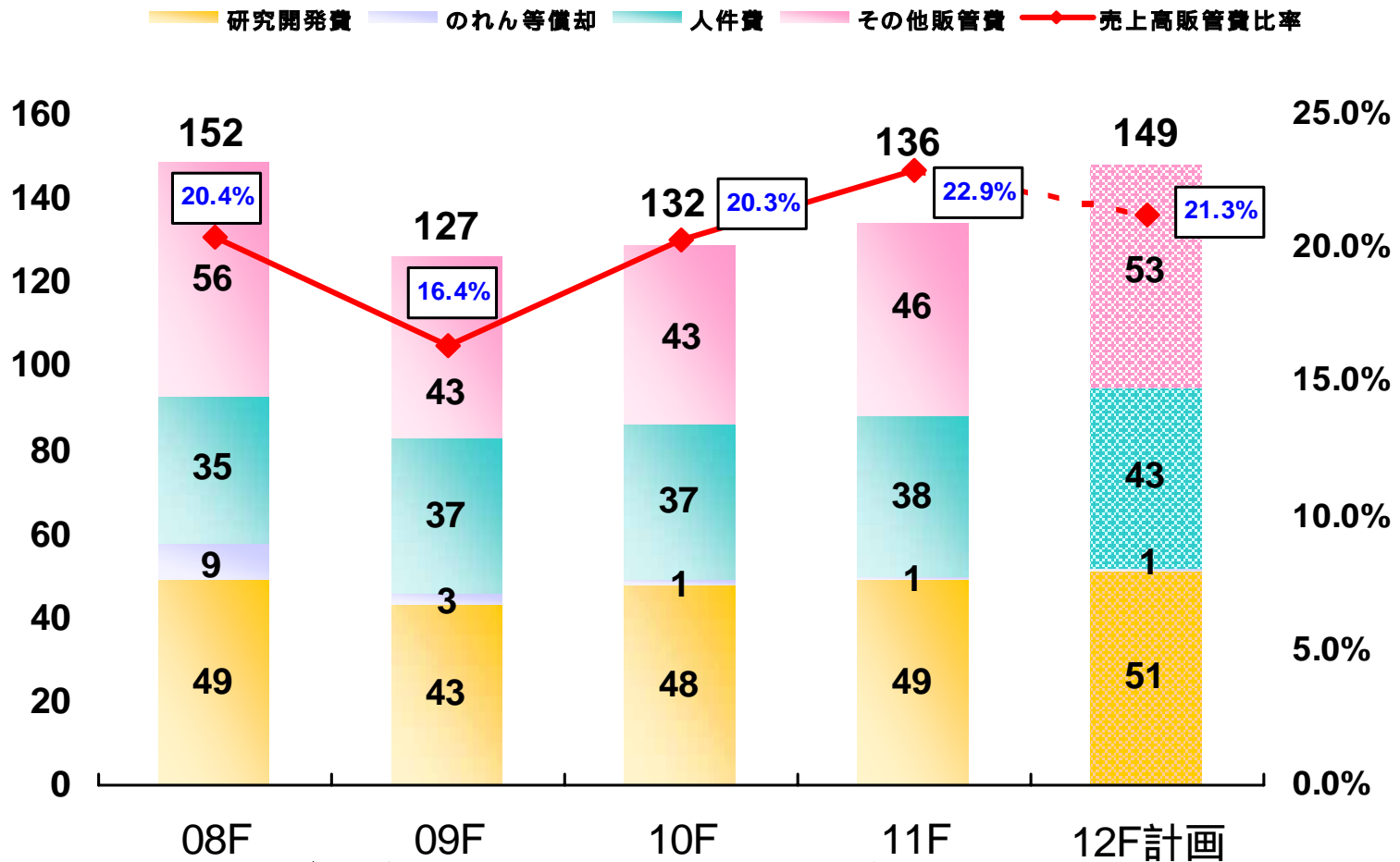
	08F	09F	10F	11F	12F計画
ROA (%)	6.1	12.9	6.9	5.8	7.8
ROE (%)	1.3	9.2	6.1	2.8	6.2
DOE (%)	3.4	2.3	1.9	1.9	1.8
EBITDA (億円)	63	105	77	51	72

ROA (総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)    ROE (自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)  
 DOE (純資産配当率): 年間配当金総額 ÷ 純資産 (期首・期末平均)    EBITDA: 税引前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん等償却費 + 減損損失



# 販売費及び一般管理費推移

(億円)



EIZO Technologies GmbHが事業譲受により取得したのれんを一括償却(3.8億円)

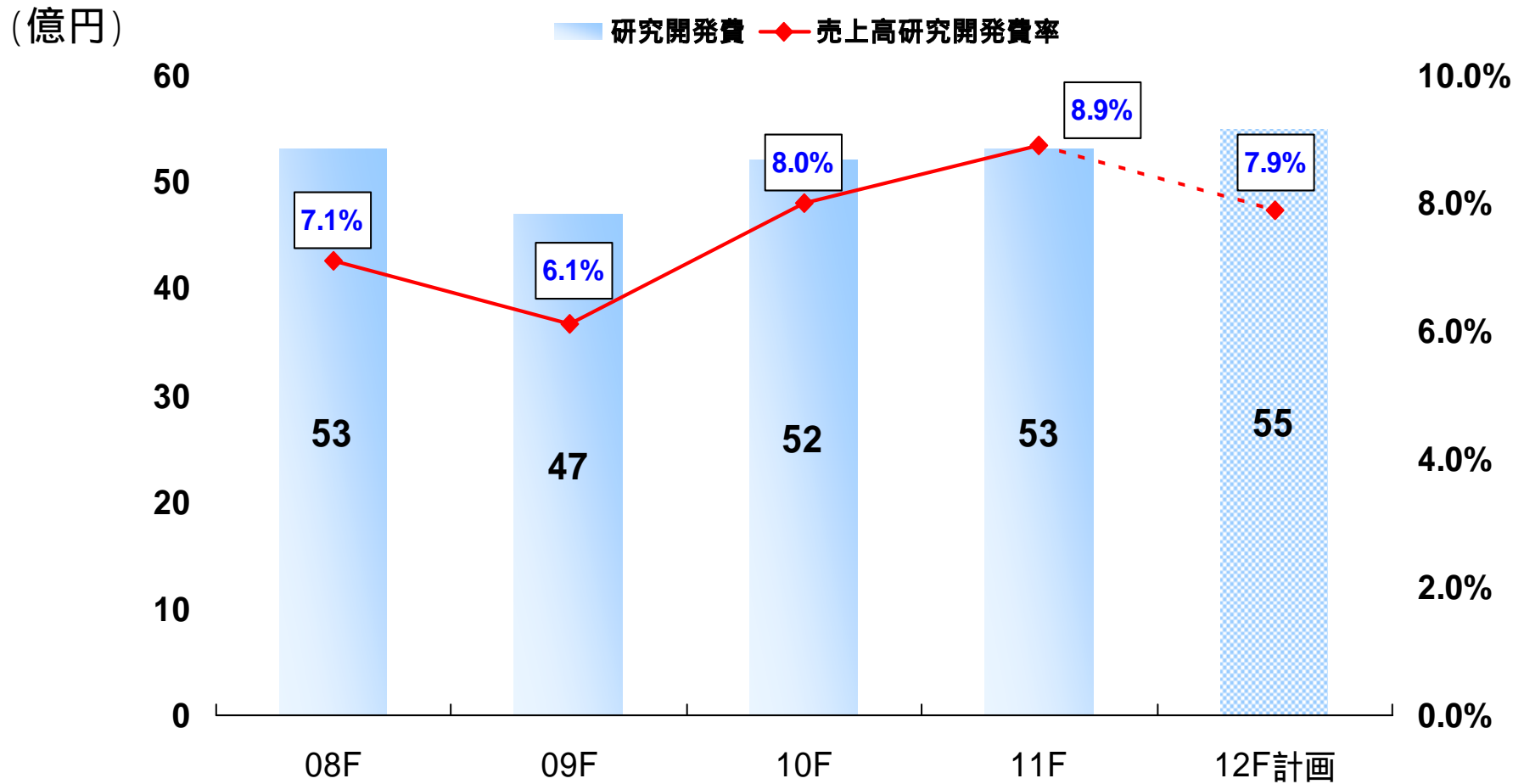
11F: ・アミューズメント用ソフトウェアの開発投資の増加

・中国子会社(2011年10月生産開始)、イギリス販売子会社(2012年1月稼働)の経費増加

12F計画: ・欧州の新販売子会社の経費増加を計画

・マーケティング・販売強化のため、広告宣伝投資の増加を計画

# 研究開発費推移



研究開発費は製造費用計上分を含む。

11F: ・アミューズメント用ソフトウェアの開発投資の増加

12F計画: ・将来に向けた積極的な開発投資の増加

・先進的な技術・デバイスを用いた製品開発、当社独自技術開発のための先行投資

# 設備投資推移

(億円)

30

■ 設備投資(金型含む) ■ 減価償却費(金型含む)

25

20

15

10

5

0

08F

09F

10F

11F

12F計画

19

24

10

20

12

16

15

16

20

16

12F計画:主に株式会社ナナオ及び国内グループ会社にて、ERPシステムの更新を計画(4.6億円)



# 比較連結貸借対照表

(百万円)

	11年3月 (前期末)		12年3月 (当期末)		前期末比
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額
現金及び預金	10,611	13.7	7,714	10.0	2,897
受取手形及び売掛金	12,720	16.4	16,742	21.7	4,022
たな卸資産	13,394	17.3	17,907	23.3	4,512
その他の	15,776	20.4	11,802	15.3	3,974
流動資産	52,503	67.8	54,166	70.3	1,662
有形固定資産	9,213	11.9	8,725	11.3	487
その他の	15,715	20.3	14,140	18.4	1,575
固定資産	24,929	32.2	22,866	29.7	2,063
<b>資産計</b>	<b>77,432</b>	<b>100.0</b>	<b>77,032</b>	<b>100.0</b>	<b>400</b>
買掛金	6,747	8.7	7,882	10.2	1,134
流動負債	12,821	16.5	14,487	18.8	1,665
固定負債	5,400	7.0	4,866	6.3	533
純資産	59,210	76.5	57,678	74.9	1,531
<b>負債・純資産計</b>	<b>77,432</b>	<b>100.0</b>	<b>77,032</b>	<b>100.0</b>	<b>400</b>



# 配当推移

(円 / 株)

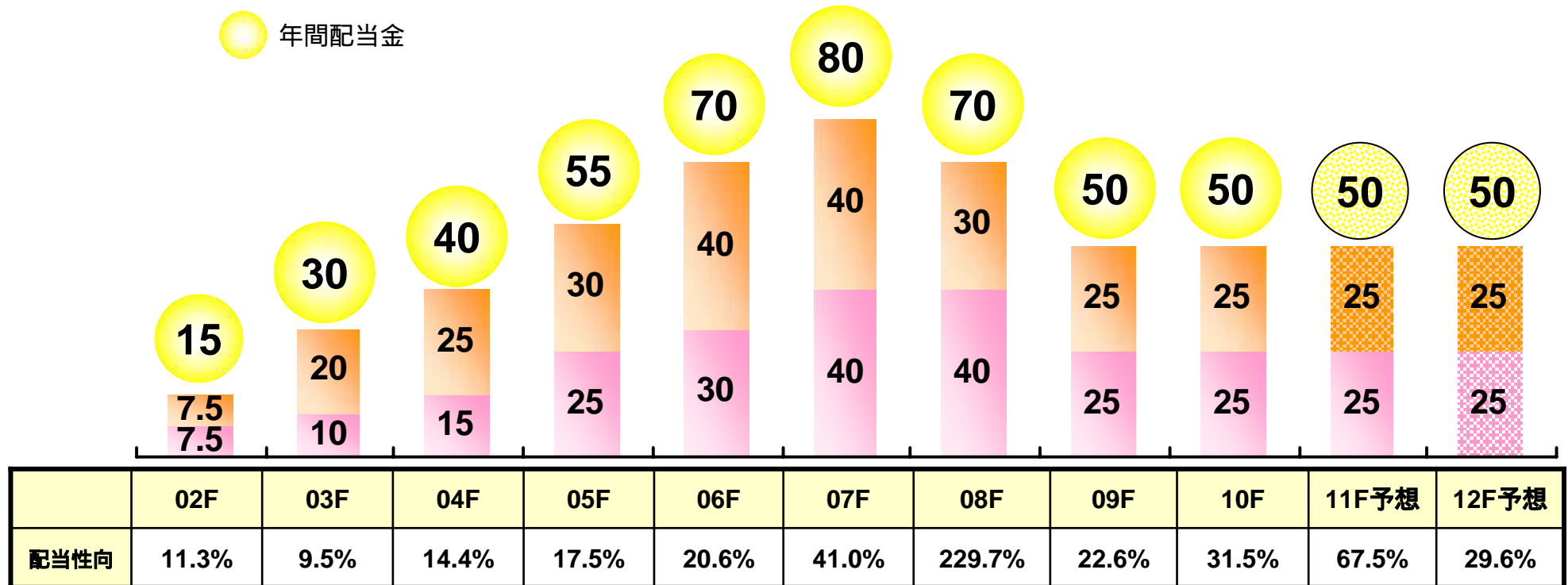
## 株主還元方針

- ・事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案の上、株主還元を実施
- ・還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の30%から40%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤を強化

■ 期末配当

■ 中間配当

● 年間配当金



配当性向は連結ベース 11F期末及び12F配当は予想

2011年9月8日開催の取締役会の決議に基づき、1,000,000株(取得価額1,661百万円)の自己株式を取得。11F予想の総還元性向は169.5%。



**株式会社ナナオ**

石川県白山市下柏野町153番地

〒924 - 8566

お問合せ

担 当：IR室 出南(でみなみ)

電話番号：076-275-4121

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)